

在宅医療等

【結果】

①出雲市を中心に医療・介護連携の取組が具体的に進められている。

「出雲市在宅医療・介護連携推進基本計画」策定中

②訪問診療を受けた患者数は増加しているものの、今後は減少が予想され、病院を核とした体制整備を進める必要がある。

出雲市立総合医療センター

- | | |
|--------------|-------------|
| ・訪問診療（試行） | H 3 1 年 3 月 |
| ・訪問リハビリテーション | R 元年 7 月 |
| ・在宅ケア科設立 | R 2 年 4 月 |
| ・訪問看護 | R 2 年 9 月 |

③訪問看護の件数は年々増加。看取り加算の増加や、医療保険の頻回な訪問看護の提供等がみられ、よりケアが必要な人の在宅医療の体制は整備されつつある。

④介護保険サービス事業所（施設・居住系）及びサ高住等の施設は、H25からR 2（見込）年度の8年間で20か所、575床増加の予定である。そのうち一番多いのは、「サ高住」5か所、229床増加である。（別紙参照）

【今後の方向性】

①病院を中心とした在宅医療の体制整備を進める。（診療所の後方支援としての病院の役割強化・連携構築）

②訪問看護が果たす役割はさらに大きくなると考えられ、引き続き体制整備の取組を進める。

③老健入所者の5割は退所の見通しが立たない状況。在宅で療養できる体制の整備をさらに進める。

④出雲市在宅医療・介護連携推進事業との連携を深める。

⑤人材確保が大きな課題である。県や出雲市と連携して取組を進める。

(新)⑥救急と地域との連携を新たな取り組みとして深めていく。

（令和元年度第3回医療・介護連携専門部会資料に今年度の状況を追記）